

研修主題

『自分の考えをもち、表現できる児童の育成』—主体的な交流活動を取り入れた国語科指導を通して—

内容：中学年ブロック代表授業について

中学年ブロック代表授業 4年1組 中島 健学級 国語『だれもが関わり合えるように』

今の4年生の子どもたちは・・・

◎自分の意見をもち、他者の意見と比較し、共通点や相違点に気づくことができる。

▲他者の意見との共通点や相違点をもとに、自分の意見に根拠をもたせて伝える力をのばしたい。



4年生の考える

「主体的な交流活動を取り入れた授業づくりをすることで、1年後にこんな姿が見られたらいいな・・・」

自分の考えと友達の考えを比較し、共通点や相違点に気づき、
そこから自分の考えを振り返り、相手に伝えることができる姿。

授業の視点

目の不自由な人に役に立つ工夫についてしらべたことをグループで分類・整理する過程において、観点を明確にした上で意見交流をしながら分類・整理し、そこから分かったことをクラス全体で共有することは、自分の発表において大事な資料、そうでない資料があることに気づき、自分の発表原稿の中心を考える助けとなるであろう。

授業の展開



【つかむ・見通す】・・・単元を通して、自力解決から集団解決につなげる活動であることを確認し、計画表を見ながら今後の活動のつながりを確認する。

○単元全体の流れの明示が、とても有効で見通しがもてた。

○一人一人資料の準備がしっかりできていて意欲的だった。



【追究する】・・・グループで資料を分類・整理する資料に付箋をつけて分類する。

点字：赤 点字以外：青

○役割分担がされており活動がスムーズだった。

○クリップと付箋を使った分類がわけやすい。

▲何が点字で点字でないかがあいまいな児童がいた。

▲イスの配置で黒板に背を向けないよう配慮が必要。



【深める】・・・分類・整理した結果、観点別に班で気づいたことをまとめる。

3つの観点

①使う人の人数 ②誰が使うか ③なぜそこにあるのか

○まとめ方の観点、道筋があり話し合いに活気があった。

○グループでの分類により、新たな発見となった。

(グループ活動が有効だった。)

▲盛りだくさんの内容なので、2時間に分けてもよい。

▲グループは3～4人にして、話し合いを早くできるようにする。



【まとめる】・・・次の時間に見通しをもつ

話し合ったことをもとに、みんなに伝えたいことを考える。

【講評より】

本単元のねらいは調べたことを発表するスキルを身に着けることで、社会科や総合的な学習の時間、理科の自由研究など様々な学習で活用できる。研究授業では、資料を分類する場面を集団(グループ)で実施したことでより多くの資料から意見交流と多様な発見があり個で学ぶより断然有効であった。分類した資料からの発見や疑問をまとめる場面で、一斉指導、集団、個の学習形態のいずれを選択、組み合わせると効果的かかを熟慮して学習をすすめたい。単元を通して計画的かついいいに指導し発表スキルを身に着けさせるとともに、グループの話し合いを経験し司会者や参加者の役割を理解することで、前号で紹介した全国学テのB問題にも対応できる力を育むことができると思う。



【全体から】

「目の不自由な人の役に立つ工夫」について身近な物(家の中、公共施設、外・道路)から探し、「点字」「点字ではない」ものへ分類することを通して、グループで資料を整理し、気づいたことを話し合い、考えを深めて、一番伝えたいものを発見するための授業であった。子どもへの十分な事前指導のおかげで、資料をしっかりと集められていたため、話し合いも活発に行われた。4年生の発達段階では、話し合い活動のやり方を学ぶことで話し合いのスキルを『身につける』ことを目的に本単元を実施した。このような活動を段階を追って経験していくことで、6年生になったときに話し合いを活用して『考えを深められる』ようつながっていくとよい。